

# 平成 16 年風水害の特徴と今後の課題

16 年風水害検討チーム

## 目次



1. はじめに	1
2. 平成 16 年風水害の特徴	1
2.1. 水文・水理及び洪水・氾濫被害の特徴	1
2.2. 土砂災害及び高潮災害の特徴	2
2.3. 気象・被災概要のまとめ	3
3. 平成 16 年連続風水害の背景と原因	5
3.1. 気象	5
3.2. 被害増大の背景	7
3.2.1. これまでにない厳しい気象条件	7
3.2.2. 河川整備の遅れ（特に中小河川）	7
3.2.3. 流域の土地利用の変化	8
3.2.4. 災害時要援護者の増加	9
3.2.5. 社会構造の変化と情報連絡体制・避難体制	9
3.2.6. 被災経験の減少	10
3.2.7. 超過洪水の発生	11
4. 平成 16 年風水害の教訓と今後の政策の方向性	11
4.1. 防災施設の適切な計画・整備と維持管理	11
4.2. 災害経験の蓄積	11
4.3. 災害情報の収集と提供	12
4.4. 防災体制	12
4.5. 超過外力への対応	13
4.6. 災害時要援護者への対応	13
5. おわりに — 今後の調査・研究に向けて	14
5.1. 各種災害を対象にした研究テーマ	14
5.2. 研究成果の一例～洪水流と氾濫流を一体化した氾濫解析手法の開発～	16
[参考資料] 平成 16 年の風水害の事例	21
1. 新潟・福島豪雨	21
2. 福井豪雨	24
3. 台風 23 号豪雨による円山川の災害	27
4. 台風 21 号による三重の土砂災害	29
5. 高潮災害	30
6. ダムの弾力的な洪水調節事例	33